

公益財団法人 檜の芽会 御中

令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		①作成日	令和 8 年 3 月 31 日
②法人・団体名	みよしのフリースクール HOPE（ホープ）		
③団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	〒470-0222 愛知県みよし市東陣取山 78-1		
④責任者氏名	渡 俊彦	(役職名等)	代表
⑤担当者氏名	市川 晶子	(役職名等)	運営責任者

【奨学活動の概要】

⑥助成交付決定番号	R07-001	⑦助成金額	50 万円	⑧申請カテゴリー	B
⑨奨学活動名	様々な理由により学習に困難を抱える子どもたちへの学習支援活動				
⑩主な実施場所名・ 及びその住所	みよしのフリースクール HOPE 〒470-0222 愛知県みよし市東陣取山 78-1				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

毎水曜日に不登校の小中学生・高校生のためのフリースクールを開き、学びと交流の場を提供している。人との関わりを通じて前向きな気持ちや学習意欲を引き出し、登校へ繋がる効果も見られている。また、不登校やひきこもりに関する相談対応や、保護者が気持ちを共有したり、悩みを相談したりする場として月 1 回開催している「HOPE 保護者の集い」や公認心理師によるカウンセリングを通じて保護者も含めたサポートを行い、子どもの意欲や主体性向上に寄与している。さらに、自治体や民間団体と連携し、月 1 回の情報交換会を開催するなど、地域全体での支援体制構築を進めている。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3-2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	21	5	105	フリースクールでの活動
高校生等				
大学生等				
学習支援員等	46	2	92	フリースクールでの活動 および不登校中高大生を持つ保護者の支援
その他	36	1.3	46.8	不登校中高大生を持つ保護者の支援
合 計			243.8	

⑬その他の定量的な数値（任意）

- * みよし市教育委員会主催の「みよし市フリースクール等連絡協議会」（1 時間 30 分）にスタッフ 2 名が参加。
- * 自治体や民間団体と連携した情報交換会を 4 回開催（1 回 2 時間）、延べ 25 名が参加。
- * みよし市長が市民の声を聴く「市長と話そう！」（1 時間）にスタッフ 2 名、保護者 2 名、市議会議員 1 名が参加。

令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：様々な理由により学習に困難を抱える子どもたちへの学習支援活動

法人・団体名：みよしのフリースクール HOPE

作成者 氏名：市川 晶子

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

すべての子どもたちが平等に、与えられている能力を開花させられる社会の実現を目的として、様々な理由により学習に困難を抱える子どもたちへの学習支援活動を行っています。

- ① 不登校の小中学生・高校生のためのフリースクール（毎週水曜日 10 時～15 時）
- ② 経済的困難を抱える小中学生・高校生のための無料塾（助成期間中は希望者がいなかったため、実施しておりません。）
- ③ 小中学生・高校生、保護者からの不登校やひきこもりに関する相談対応（随時対応。必要に応じて公認心理師の資格を有するスタッフによるカウンセリングを無料で受けることも可能。また、月 1 回、保護者が気持ちを共有したり、悩みを相談したりする場として「HOPE 保護者の集い」を開催。）
- ④ 自治体・民間団体等とのネットワーク構築（月 1 回、子どもたちの学びの場を保障するための情報交換会「みよしの子どもたちの環境を考える会」を主催。）

2. 実施した奨学活動の詳細

① 不登校の小中学生・高校生のためのフリースクール

◎活動内容の詳細

【場所】みよしのフリースクール HOPE

【日時】毎週水曜日 10 時～15 時

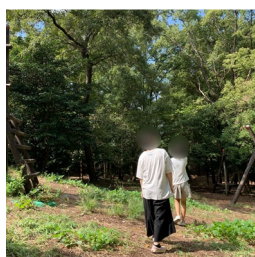
【対象】不登校の小中学生・高校生

【会費】1 日 500 円（光熱水費、施設賃料の一部として使われます。）

【内容】人との関わり、遊び、学習などを通じた学びの場の提供



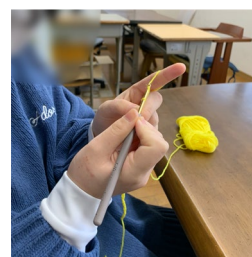
ポッチャ



公園散策



カードゲーム



編み物



理科の学習



数学の学習



国語の学習



調理実習

◎参加人数

小学生：延べ 25 名 中学生：延べ 21 名

◎周知方法や協力いただいた関係者

【周知方法】HP、Instagram、紹介

【協力いただいた関係者】

児童・生徒の在籍する小中学校、みよし市教育センター「学びの森」、
一般社団法人みよしはたらく協議会

◎地域やボランティア活動との連携

- ・毎月、活動報告書を児童・生徒の在籍する小中学校に送付し、情報を共有
- ・児童の在籍する小学校の教諭とみよし市教育センター「学びの森」の教諭、HOPE スタッフによる、児童の支援に関する情報交換会を開催
- ・一般社団法人みよしはたらく協議会の行う精神障がい者等サポート事業「シエルブルー」と連携し、シエルブルー利用者がHOPE ボランティアスタッフとして参加
- ・地域の方からの食料品の寄付

◎学習支援員について

運営スタッフ（教員経験者）：2名 ボランティアスタッフ：2名

◎購入した機材・物品

カセットコンロ、ホットプレート、鍋、クッキングスケール、延長コード、箸、畳



カセットコンロ



ホットプレート



鍋



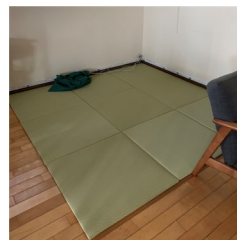
クッキングスケール



延長コード



箸



畳

◎成果

- ・家族以外の人と接することができるようになった。
- ・学習意欲が湧き、学習に前向きに取り組むようになった。
- ・登校への意欲が湧き、少しずつ学校で過ごせるようになった。
- ・進学への意欲が湧き、パンフレットを取り寄せたり、学校説明会に参加するようになった。
- ・進学先を自ら選択し、決定することができた。

③ 小中学生・高校生、保護者からの不登校やひきこもりに関する相談対応

Ⅰ. 個別相談

◎活動内容の詳細

【場所】みよしのフリースクール HOPE

【日時】希望があれば随時対応、1回1～2時間程度

【対象】不登校・ひきこもりの小中学生・高校生とその保護者

【会費】 無料

【内容】 相談に乗り、必要に応じてフリースクールで子どものサポートを行ったり、他の支援機関を紹介したりする。

◎参加人数

小学生：延べ 4 名 保護者：延べ 4 名

◎周知方法

HP、インスタグラム

◎支援員について

運営スタッフ（教員経験者）：2 名

◎成果

- ・ 保護者の気持ちが軽くなることで、子どものペースを尊重できるようになった。
- ・ 発達障害や学習障害の専門機関と繋がることができた。

II. 公認心理師によるカウンセリング

◎活動内容の詳細

【場所】 みよしのフリースクール HOPE 他

【日時】 月 1～2 回 1 時間

【対象】 不登校・ひきこもりの小中学生・高校生とその保護者

【会費】 無料

【内容】 公認心理師の資格を有するスタッフがカウンセリングを行う。

◎参加人数

保護者：延べ 22 名

◎周知方法

HP、インスタグラム

◎支援員について

運営スタッフ（公認心理師）：1 名

◎成果

- ・ 保護者が自身の内面を客観的に捉えることで、子どもへの関わり方を見直すことができた。
- ・ 保護者が、公認心理師から子どもへのサポートの仕方についての具体的なアドバイスを受けることができた。
- ・ 公認心理師が保護者とフリースクール運営スタッフとの間に入ることで 3 者が連携し、子どもの支援をより効果的なものにすることができた。

III. HOPE 保護者の集い

◎活動内容の詳細

【場所】 みよし市市民活動センター

【日時】 毎月第 2 金曜日 13 時～15 時

【対象】 不登校・ひきこもりの小中学生・高校生の保護者

【会費】 無料

【内容】 保護者が気持ちを共有したり、悩みを相談したりする。

◎参加人数

延べ 10 名

◎周知方法

HP、Instagram

◎支援員について

運営スタッフ（教員経験者）：2名

◎成果

- ・同じような悩みを抱える保護者と繋がることができた。
- ・保護者の気持ちが軽くなることで、子どものペースを尊重できるようになった。
- ・各学校の不登校児童・生徒への対応について、情報を共有することができた。
- ・受験対策や通信制高校についてなど進路情報を共有することができた。
- ・様々な支援機関についての情報を共有することができた。

④ 自治体・民間団体等とのネットワーク構築

◎活動内容の詳細

【場所】みよし市教育センター「学びの森」

またはみよし市市民活動センター

【日時】毎月第3土曜日 13時～15時

【対象】子どもたちへの思いがあれば、誰でも参加可能。

保護者、学校関係者、フリースクール関係者、市議会議員などが参加している。

【会費】無料

【内容】子どもたち（特に不登校児童生徒）のためのより良い環境作りを目指した情報交換会「みよしの子どもたちの環境を考える会」を主催している。



みよしの子どもたちの
環境を考える会

◎参加人数

延べ25名

◎周知方法や協力いただいた関係者

【周知方法】HP、Instagram

【協力いただいた関係者】

みよし市教育センター「学びの森」、一般社団法人みよしはたらく協議会

◎地域やボランティア活動との連携

「みよしの子どもたちの環境を考える会」には、みよし市立中学校の教員、市議会議員、社会福祉協議会の職員、精神障がい者支援団体の関係者、学校と地域の連携活動を行うボランティア団体の関係者など、地域で活動する多様な人々が参加している。この会を通じて新たな繋がりが生まれ、子どもの支援活動の充実や講演会の開催、行政への働きかけなど、様々な効果的な動きが展開されている。

◎「市長と話そう」への参加

【場所】みよし市役所

【日時】2025年10月3日 14時～15時

【内容】「みよしの子どもたちの環境を考える会」で集められた、不登校児童生徒をもつ保護者の声をみよし市長に届ける。

【参加人数】5名



市長と話そう

◎成果

- ・子どもたちに関わる様々な人々と繋がることができ、様々な視点を学ぶことができた。
- ・不登校児童生徒やその保護者が抱える悩みを、共有したり情報交換をすることができた。
- ・不登校児童生徒への対応についての学校が抱える課題を、共有したり情報交換をすることができた。
- ・様々な問題について、市長や市議会に声を届けることができた。

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

◎本活動から得られたもの

本活動を通じて、多くの学びを得ることができた。特に、日々変化する子どもの様子を丁寧に観察し、その時々に応じた適切なサポートを行うことの重要性と難しさを学んだ。また、子どもたちの心理状態には波があり、保護者もその影響を受けて気持ちが揺れ動くが、保護者が過度に揺らがないよう支援することも重要であると感じた。さらに、保護者や学校関係者、フリースクール関係者など、子どもに関わる大人たちが信頼関係を築き、協力して支援を行うことで、それぞれの視野が広がり、より良い支援につながるということが分かった。

◎反省点

「みよしの子どもたちの環境を考える会」は、参加者の減少により、1月以降は定期開催が難しい状況にある。会の運営方法を確立できなかったことが反省点である。今後、地域とのより良い連携の在り方を模索していきたい。

◎課題

フリースクールに関心を寄せる子どもの低年齢化が進んでおり、今年度は初めて小学1年生の児童が活動に参加するようになった。今後も小学校低学年の児童が増加する可能性があり、一人ひとりに応じた丁寧な支援を行うためにも、これまで以上にスタッフの増員が必要になると考えられる。こうした中で、児童が在籍する小学校の教諭と、みよし市教育センター「学びの森」の教諭、HOPEスタッフが定期的に情報交換を行うことで、支援体制が充実し、徐々に集団での活動ができるようになった児童も見られた。このような連携は子どもへの支援をより効果的にする上で重要であるが、その維持・強化にも十分な人員が不可欠であり、人員の確保は引き続き大きな課題である。

◎今後への発展性

みよし市教育センター「学びの森」の教諭の紹介による、HOPEへの相談件数は徐々に増えている。その中の数人は、フリースクールの活動にも参加するようになった。また、児童が在籍する小学校の教諭、みよし市教育センター「学びの森」の教諭、HOPEのスタッフが定期的に情報共有を行うことで、支援体制が充実したケースも見られた。今後もこのような官民の垣根を越えた連携によって、支援体制をより充実させていきたい。また、その中でHOPEを一つの選択肢としてより多くの子どもたちに活用してもらえよう、教育環境の整備にも努めていきたい。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等

HOPEでは、国語や算数などの学びだけでなく、人との関わりや遊びを通じて得られる学びも大切にしたいと考えている。しかし、HOPEを訪れる子どもたちの中には、学びに強い抵抗感を示す子が少なくない。このような子どもたちがイメージする学びは、教科書に沿った授業やドリル学習といった非常に限られた範囲のものである。私たちは、このイメージを払拭し、もっと自由に、純粋に学ぶことを楽しめるようにしたいと考えているが、なかなか容易ではない。それでも諦めず、粘り強く取り組み、HOPEが学びの場として子どもたちにとって魅力的な場所になるよう、今後も努力していきたい。